

# 経営比較分析表

宮崎県 木城町

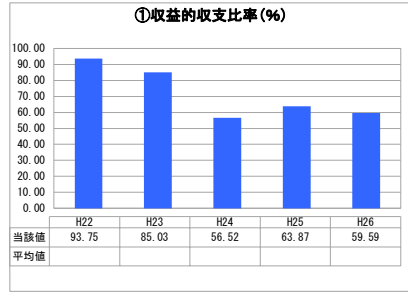
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	69.42	105.58	1,663

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,412	145.96	37.08
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,754	1.27	2,955.91

**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



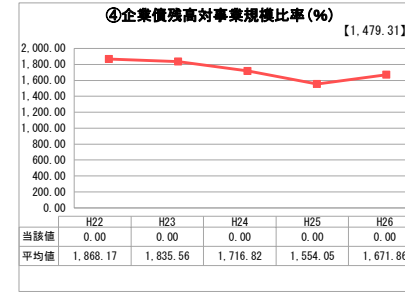
「単年度の収支」



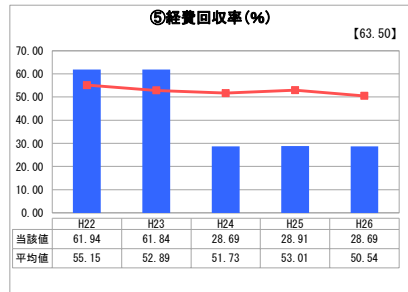
「累積欠損」



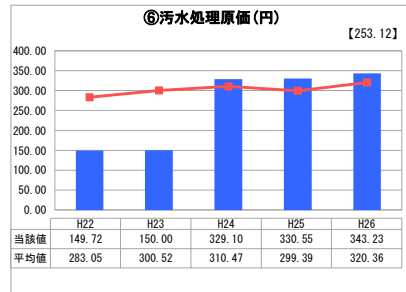
「支払能力」



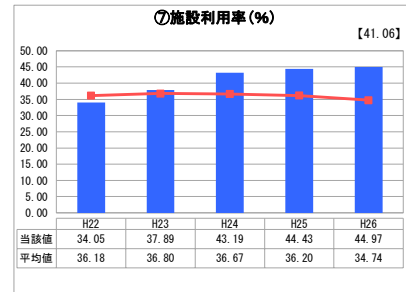
「債務残高」



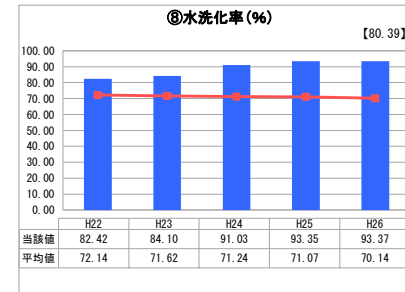
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

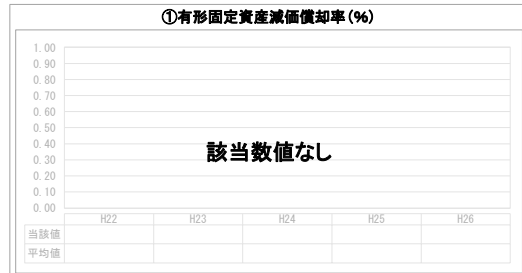


「施設の効率性」

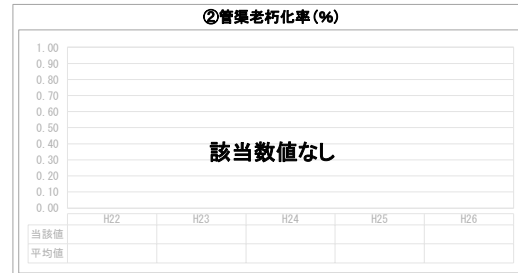


「使用料対象の捕捉」

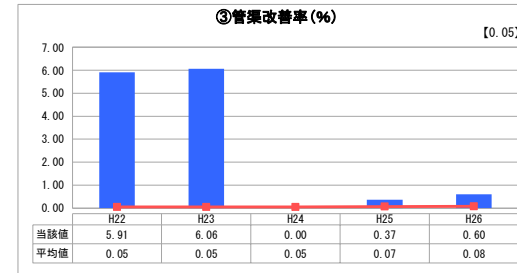
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 町民の生活改善と小丸川の水质保全を目的に、特定環境保全公共下水道として整備された事もあり、当初より低料金で加入促進を図ってきました。そのため、「①収益の収支比率」が100%を下回っており、経営の健全性が確保されているとはいえません。

② 「⑥汚水処理原価」が高くなり、「⑤経費回収率」が低いなど、経営の効率性については改善する必要があります。

③ 「⑦施設利用率」は、ほぼ類似団体平均値と同じくらいであります。更に経営の効率性については改善する必要があります。

④ 「⑧水洗化率」も、93%と高い事から、今後の料金収入も大きく伸びるものとみています。そこで、料金改定を見据えた経営の効率性の改善を検討する必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始から12年と老朽管はありません。しかし、将来的に管渠の更新投資・老朽化対策、また、浄化センターの設備、機器更新等の必要性が出てきた場合に備えた財源確保の検討が必要であります。

## 全体総括

① 経営の健全性を高めるため、適切な料金水準について検討する必要があります。

② 管渠、施設設備等の老朽化に対応するため、限られた財源の中で優先順位を付けた更新計画を検討する必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。